

評価及び取組報告書

令和5年 1月 31日

学校法人 平岡学園 平岡幼稚園

園長 堀田 佳之介

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none">・水を大切に使う。出し過ぎに注意する。・戸外でのあそびに使用する水は、井戸水を使用する。・廃材あそび(ごみの減量化とも結びつくようにする)。	<ul style="list-style-type: none">・使用していない照明や空調を消す。・エネルギーの効率化を図る為、熱遮蔽に努める。・ゴミ処理場で発電される廃棄物発電を利用している。	<ul style="list-style-type: none">・ゴミの分別(燃せる・プラ・紙)・エコキャップ活動・使用済み切手集めをする。・食事の際のゴミを少なくする(できるだけ残さない・落とさないなど)

独自メニュー

地域の生物多様性の保全活動

我が園のビオトープ(野生生物の生息空間)には、人の手で生きもの(ホタルやメダカ、水草など)を持ち込んでいません。ビオトープで見られる生き物はすべて、周囲から自力で移動してきた生き物です。

我が園の所在する岡崎地区は、土地開発(宅地化等)が進み、決して豊かな自然があるとは言い難いのですが、それにもかかわらず、園地をビオトープ化して以降、400種を超える生き物が集まっています。その中には、神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006 に記載されている生物 32 種([絶滅危惧Ⅰ類: マエアカヒトリ]、[絶滅危惧Ⅱ類: コオイムシ]、[絶滅危惧Ⅲ類: オオタカ・ヒラタクワガタ・ルリカミキリ・オオミノガ・オツネトンボ]、[準絶滅危惧: コシボソヤンマ・カトリヤンマ・ミヤマアカネ・コガムシ・ウバタマムシ・ヒバカリ]、[要注意種: 12 種 ハグロトンボ・ホソミオツネトンボ・タカネトンボ・シオヤトンボ・リスアカネ・マユタテアカネ・ナツアカネ・タマムシ・ケラ・シマヘビ・アオダイショウ・ヒガシニホントカゲ]、[減少種: 5 種 アカハラ・カワラ



平岡幼稚園のビオトープの1つ「平岡の森」

独自メニュー（つづき）

秘話・キセキレイ・モズ・燕↓（注目種：1種 アオバト）（情報不足：1種 ホソミイトトンボ）が含まれるなど、地域の生物多様性の保全に大きく貢献しています。

身近な自然とふれあい、子どもたちの豊かな心身を育む活動（次代の育成活動）



↑ 毎日、豊かな自然とふれあって遊ぶ園児

自然は子どもたちのワンダーランドです。

我が園では、ビオトープの取組など、多様な自然とのふれあい活動を通して、心身の豊かさや、“生きる力（豊かな感性、健やかな身体、学力の礎）”を培う教育を行っています。



手作りのツリーハウス ➡

持続可能な社会づくり（自然と共存する社会づくり）を担う次代の育成には、幼少期に「自然」の楽しさ、面白さ、不思議さ、大切さなど、自然の持つ多様な魅力を感じるような体験をたくさんすることが重要だと思っています。本園では、いつまでも心の奥に残るような多様な自然体験活動ができるように日々工夫をしながら保育をしています。手作りのツリーハウスもその工夫のひとつです。樹齢50年以上のイトヒバを囲うように作られたこのツリーハウスには、自然と繋がりのある遊びが様々な展開できるように、お店カウンターなども完備されています。子どもたちが自由な発想で自然を楽しむことができる人気スポットです。

湘南自然誌の出版活動

湘南自然誌は、平岡幼稚園が出版する“地域の自然情報誌”です。発行は年4回（季刊）、発行部数は600部です。今年度はこれまでに29～31号を刊行（32号は2024年3月刊行予定）。

本誌は、地域の自然に造詣の深い学識者による特集や、読者からの投稿写真により地域の生物情報を蓄積する「みんなで作る生きもの図鑑」、自然にまつわる教育コラムなど、地域のさまざまな自然情報を掲載しています。生きもの図鑑コーナーでは、29～31号までに22種が追加され、創刊号からの通算種数は889種となりました。



平岡幼稚園が出版する
「湘南自然誌」

た。

本誌は、2020年にISSN（International Standard Serial Number：国際標準逐次刊行物番号）を取得し、国立国会図書館（東京本館・関西館）、神奈川県立図書館、平塚市図書館（中央図書館・南図書館）、神奈川県立生命の星・地球博物館ライブラリーなど、県内外48の公共施設に郷土資料・一般雑誌として、収蔵（配架）されています。

園児親子向け「自然観察会」等の実施

休園日を利用し、平岡幼稚園の園児家族を対象とした自然観察会等を行いました。地域の自然環境の魅力を肌で感じてもらえるように、海や川、里山など様々な環境に出向き1/31時点で8回実施しました。2/1～3/31までに3回実施予定です。

地域交流「ひらつかのカマキリ調査」

平塚市博物館と連携し、令和5年9月～令和6年2月まで、地域住人の皆さんと一緒にカマキリ調査を実施しています。地域の自然の現状を、記録として残す重要な活動となっています。

園の活動で得られた生物データを発表する活動

平岡幼稚園の諸活動で得られたさまざまな生物の知見を、より有用な形で残していく事を目的として、必要に応じて学術誌や生物専門誌にて報告しています。今年度は、神奈川昆虫談話会機関紙の「神奈川虫報」にて以下の報告を行いました。

神奈川県西部におけるマツ類依存の甲虫5種の追加記録

神奈川県平塚市および秦野市鶴巻におけるハラビロカマキリ属

普及広報活動

平岡幼稚園で行っている活動を市民の皆さまに広く知っていただけるように、パネル展示や活動発表会等に参加しています。今年度は令和6年2月に開催されるさがみ自然フォーラムに参加予定です。